

《記載例》

※ 事務局記載

受付番号		申請区分		分野		申請額	万円
------	--	------	--	----	--	-----	----

平成28年度 新事業創出支援貸付申請書

平成 年 月 日

公益財団法人ひょうご産業活性化センター 理事長 様

新事業創出支援の貸付を受けたいので、関係書類を添えて申請します。

1 事業者の概要

※ 会社概要パンフレットを添付していただき、申請書は6頁程度で作成ください。

また、申請書を手書きする場合は、黒いペンまたはボールペンでご記入ください。

フリガナ	ヒョウゴコウベ カブシキガイシャ			申請担当者	
事業者名	ひょうご神戸株式会社			職 名	開発企画室長
フリガナ	ヒョウゴ タロウ	必ず代表者印を押印してください。 		フリガナ	ハバ タロウ
代表者名	兵庫 太郎			氏 名	羽場 太郎
フリガナ	ヒョウゴケン コウベシ チュウオウク ヒョウゴマチ				
事務所所在地	〒650-0000 兵庫県神戸市中央区兵庫町1-1-1				
連絡先	TEL (078) 〇〇〇 — 〇〇〇〇		自宅又は携帯 TEL 090-〇〇〇〇-〇〇〇〇		
	FAX (078) 〇〇〇 — 〇〇〇〇		E-mail hyogo-habatan@x x x . jp		
URL	http:// /www.		青色申告の有無	有 . 無	
概 要	創業 M・T・S・ H 14 年 4 月		業務内容 映像機器、ディスプレイ製造		
	沿革 H14年4月 神戸市中央区にて創業 (資本金500万円、役員〇名、従業員〇名) H18年4月 業務拡大により従業員〇名雇用 H20年4月 H22年4月		事業内容 主たる事業は、〇〇社の発注による映像機器の製造 国内では唯一の〇〇をしている。		
	資本金	1,000万円	経営者・役員	3 名	常用従業員
パート	5 名				
ひょうご 産業活性化 センター 支援制度の 活用状況等	利用なし 利用あり 平成 年頃 1 窓口相談 2 専門家派遣 3 技術評価制度 4 設備貸与制度 5 実用化開発(新技術・サービス) 資金貸付 6 (その他)				

2 貸付申請

貸付金の用途、購入・発注先及び金額を記入してください。

対象経費区分	内 容	単価 (税込)	数量	所要額 (税込)
原材料費	実験用素材×××の購入経費 (購入先△△工業)	28,000 円/kg	100	280 万円
機械装置等 購入費	〇〇〇試作機 (購入先〇×機械工業)	4,500,000 円	1	450 万円
出展・調査費	市場調査及び展示会開催費 (委託先△企画)	2,000,000 円	1	200 万円
		円		万円
(対象経費計 — 補助金収入) × 70% (申請区分により上限額あり)				対象経費計 ※ 930 万円
↓				うち補助金収入分※ 350 万円
貸付申請額 (注参照) ※ 400 万円		自己資金 100 万円	その他借入 80 万円	

注) ①同一事業について国・地方公共団体から補助金が交付される場合、「貸付申請額」は、「対象経費計」から「補助金収入」を差し引いた額の70%を上限とします。1万円未満は切捨てとしてください。

②「対象経費合計」、「補助金収入」、「貸付申請額」、「自己資金」、「その他借入」は、P20「対象経費総額」、P21「資金計画」の金額と一致させてください。

③貸付対象経費は貸付予定日以降の12か月分が対象となります

3 財務状況 <決算期 3 月末> ※過去5期+今後見込み1期分を記入願います。

(単位: 万円)

区分	5年前 (H23 年)	4年前 (H24 年)	3年前 (H25 年)	前年 (H26 年)	直近 (H27 年)	見込 (H28 年)
売 上 高	〇〇〇	□□□	×××	〇〇〇	□□□	×××
営 業 利 益	〇〇〇	□□□	×××	〇〇〇	□□□	×××
経 常 利 益	〇〇〇	□□□	×××	〇〇〇	□□□	×××
税引後当期利益	〇〇〇	□□□	×××	〇〇〇	□□□	×××
減 価 償 却 費	〇〇〇	□□□	×××	〇〇〇	□□□	×××
純 資 産	〇〇〇	□□□	×××	〇〇〇	□□□	×××

4 売上の状況 (直近の決算時)

主な取引先	所在地	生産品目 (具体的に)	最近1年間の売上	総売上に 占める割合	取引年数
ABC電機株	神戸市〇区	LEDディスプレイ	×××万円	〇〇%	3年
◇◇ディスプレイ(株)	大阪市×区	□■式投影機	×××万円	△△%	2年
(株)☆☆工業	姫路市	××レンズ	×××万円	■●%	2年
その他 (3 件)		□□□	×××万円	◎◎%	1年
毎月の売上額 (直近6か月平均値)	1,800万円	合計	万円		

5 金融取引等の現状 (申請時 ※毎月の返済額は直近6か月間の平均値)

現在 の 金 融 取 引	取引金融機関	預金 (万円)	短期借入金			長期借入金			借入金合計 ①+②
			①残高 (万円)	年利	担保提供	②残高 (万円)	年利	担保提供	
現在 の 金 融 取 引	A銀行	2, 0 0 0		%	有・無	3, 0 0 0	3. 0 %	有・無	3, 0 0 0
	B銀行	1, 5 0 0		%	有・無	1, 5 0 0	2. 7 %	有・無	1, 5 0 0
	C信用金庫			3. 0 %	有・無		%	有・無	9 5 0
				%	有・無		%	有・無	
	合 計	3, 5 0 0	9 5 0						
毎月の返済額 (直近6か月の平均値)			短期借入金	5 0 万円		長期借入金	5 0 万円		

6 活性化センターからの借入実績 ※過去に活性化センターからの借入実績がある場合にご記入ください。

制 度 名	利用年度	借入額 (万円)	残債額 (万円)
経営革新企業支援資金貸付	平成20年度	1, 0 0 0 万円	6 0 0 万円

7 実用化開発

(1) 概 要

研究開発のポイントやアピールすべき内容 (コスト低減、性能向上、付加価値の付与等) を盛り込みつつ、分かりやすく簡潔に記載してください。

実用化開発の名称	〇〇の△△に係る開発	事業化計画の名称を簡潔に記載してください
実用化開発の概要	開発の内容を具体的に記載し、イメージ化できるようにわかりやすく説明してください。	
申請区分・該当分野	該当する貸付申請区分と事業分野を選択し、□ 内にチェック (■) をしてください。 分野が複数の場合は、各分野にチェックし、主たる分野に○を記入してください。	
☒ 産学連携・事業連携 ☐ 単独企業 (ものづくり) ☐ 単独企業 (IT活用ビジネス)	☐ 健康 ☐ 生活文化 ☒ 情報通信 ☐ 環境・エネルギー ☒ ナノテクノロジー・新製造技術・新素材 ☐ 輸送・物流 ☐ ビジネスサポート ☐ 防災・安全	
☐ 生活・サービス産業創出	☐ 健康 ☐ 生活文化 ☐ 環境・エネルギー ☐ 輸送・物流 ☐ ビジネスサポート ☐ 防災・安全	

実用化開発の展望	(1) 開発する技術、製品、サービスが実用化される見込 実用化に向けて取り組むべき課題及びそれら課題への対策、実施スケジュール及び計画どおりに事業を進めた場合の実用化予定時期等について記載してください。 (2) 開発する技術、製品、サービスに対する社会的ニーズ、市場規模 (3) 価格、売上計画 価格設定、生産体制、販売体制・戦略、売上高、粗利、販売数量、想定される市場規模、市場占有率等について記載してください。																		
特許取得（申請）状況	① H0000-00000 号（出願人：ひょうご凸凹㈱、*****技術）の特許取得 ② H0000-00001 号（出願人：ひょうご凸凹㈱、@@@@@技術）の特許申請中																		
当該事業に関する補助金交付実績・見込	今回の貸付申請事業について、国や地方公共団体からの補助金交付が確定もしくは見込まれる場合に記載してください。 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">補助金交付団体</th> <th style="width: 25%;">補助金名称</th> <th style="width: 15%;">金額（万円）</th> <th style="width: 20%;">交付時期</th> <th style="width: 20%;">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>経済産業省</td> <td>〇 〇 補助金</td> <td style="color: red;">※ 350</td> <td>平成28年12月</td> <td>見込</td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> </tbody> </table>				補助金交付団体	補助金名称	金額（万円）	交付時期	備考	経済産業省	〇 〇 補助金	※ 350	平成28年12月	見込					
補助金交付団体	補助金名称	金額（万円）	交付時期	備考															
経済産業省	〇 〇 補助金	※ 350	平成28年12月	見込															
事業実施期間（予定）	（開始）平成◇◇年××月◎◎日 ～（完了）平成〇〇年□□年△△日																		
対象経費総額 ※	1, 6 5 0 万円 （うち28年度経費 ※ 9 3 0 万円）																		
その他特記事項	開発事業について補足することがあれば記載してください。																		

(2) 今後のスケジュール

貸付対象期間だけではなく全体事業について、事業化までのスケジュールを記載してください。
特に開発スケジュールについては、開発項目ごとに詳細に記載してください。

期 間	項 目	内 容
○年 △ 月～◎ 年 × 月	研究開発	○○のための研究
○年 △ 月～◎ 年 × 月	試作機製作	○○を行うための試作機製作
○年 △ 月～◎ 年 × 月	実証研究	試作機によるデータ収集・分析
○年 △ 月～◎ 年 × 月	改良機製作	実証データを踏まえた改良機の製作
○年 △ 月～◎ 年 × 月	市場調査	○○に対する詳細市場調査
○年 △ 月～◎ 年 × 月	展示会出展	製品に対するアンケート、ヒアリング調査
○年 △ 月～◎ 年 × 月	生産設備導入	生産のための設備導入

(3) 資金計画 (事業化までに要するすべての経費を記載してください。)

(単位：万円)

	区 分	対象経費 (A)	補助金収入 (B)	貸付申請額 (C) (A-B) × 70%以内	自己資金等 (D+E)	
					自己資金 (D)	その他借入れ (E)
28 年 度	新製品・新技術等開発・ 新サービス実証事業	730	350	260	100	20
	マーケティング調査・販路開拓・ ビジネスモデル開発事業	200		140		60
	その他事業					
	小 計	※ 930	※ 350	400	100	80
29 年 度	新製品・新技術等開発・ 新サービス実証事業					
	マーケティング調査・販路開拓・ ビジネスモデル開発事業					
	その他事業	720			220	500
	小 計	720			220	500
合 計		※ 1,650	350	400	320	580

(資金計画記載に当たっての注意事項)

- P16「8 実用化開発」に記載された事業について、事業化までに要するすべての経費を記載してください。
開発期間が2か年度以上にわたる場合は、様式を追加して年度ごとにご記入ください。
- 所要経費は、公募要領のP10～12「別表1～3：対象経費」を参考に記載してください。
貸付申請額(C)は、対象経費(A)から、国・地方公共団体からの補助金収入(B)を控除した額の70%以内で決定してください。 ※対象経費(A) = 補助金収入(B) + 貸付申請額(C) + 自己資金等(D+E)
- 自己資金等とは、自己で保有する資金と、金融機関等からの借入の合計です(センターへの貸付申請額は除く。)
- P15「2 貸付申請」欄やP20「対象経費総額」やP21「28年度経費」の金額と齟齬が生じないように記載してください。
- センターへの貸付申請額は、次の金額を上限とします。

産学連携・事業連携	5,000万円（単年度：2,500万円）
単独企業（ものづくり、IT活用ビジネス）	3,000万円（単年度：1,500万円）
生活・サービス産業創出	400万円

- 6 創業予定者及び決算期を2期迎えていない事業者は、P23「様式3 資金調達計画書」を添付してください。
- 7 提出された事業化計画等に基づき審査を行います。貸付決定された事業化計画には、県が実施する中小企業融資制度「新技術・新事業創造貸付」（有利子）をご利用になることができます（金融機関等の審査あり）。当無利子貸付に併用して「新技術・新事業創造貸付」を利用される場合には、上記資金計画に記載してください。